

平成26年第14回瑞浪市教育委員会定例会会議録

(要点筆記)

日 時 平成26年12月25日(木) 13時30分開会

場 所 瑞浪市役所 2階大会議室

日程第1 前回会議録の承認

日程第2 本日の会議録署名委員の指名

日程第3 議 事

出席委員(5名)

| | |
|----------|---------|
| 委員長 | 水 野 昌 代 |
| 1 番 | 加 藤 博 之 |
| 2 番 | 矢 野 元 子 |
| 3 番 | 五 嶋 久 年 |
| 4 番(教育長) | 平 林 道 博 |

説明のため出席した者の職、氏名

| | |
|------------|-----------|
| 事務局長 | 伊 藤 正 徳 |
| 学校教育課長 | 小 栗 茂 |
| 教育総務課長 | 酒 井 浩 二 |
| 社会教育課長 | 土 屋 泰 次 郎 |
| スポーツ文化課長補佐 | 柄 澤 宏 明 |
| 学校給食センター所長 | 土 本 典 史 |

職務のため出席した事務局職員

| | |
|-----------|---------|
| 教育総務課総務係長 | 羽 柴 千 世 |
| 〃 主事 | 長谷川 幸 |

委員長

13時30分、本日の委員会定例会の開会を宣言する。

—市民憲章朗誦—

日程第1、前回会議録の承認を行う。

平成26年第13回教育委員会定例会の会議録の承認は、1番加藤博之委員と2番矢野元子委員が承認の署名を行う。

—署名—

委員長

日程第2、本日の会議録署名委員の指名を行う。

本日の会議録署名委員は、委員長において、3番五嶋久年委員と4番平林道博委員の2名を指名する。

委員長

それでは、日程第3、「議第45号 瑞浪市幼稚園の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」を議題とする。本案について事務局に説明を求める。

学校教育課長

議案資料により説明する。

委員長

本案について、質疑はあるか。

各委員

—質疑なし—

委員長

それでは、質疑を終結し採決を行う。

「議第45号 瑞浪市幼稚園の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」を原案のとおり承認することに異議はないか。

各委員

—異議なし—

委員長

ご異議ないものと認める。よって、「議第45号」は、原案のとおり決する。

つづいて、「議第46号 平成26年度末瑞浪市教職員定期人事異動方針について」を議題とします。

本案について事務局から説明を求める。

学校教育課長

議案資料により説明する。

委員長

本案について、質疑はあるか。

加藤委員

現在40代後半から50代の教職員が多い状況にあり、30代の教職員が少ないのはどの市も同じような状況であるし、瑞浪市だけでなく各市30代などの若手の教職員の指導に力を入れないといけないと思うが、教職員の人事は市の要望によるものか岐阜県が決定するのか教員配

| | |
|--------|---|
| | 置の方法を説明願う。 |
| 学校教育課長 | 県教育委員会の人事異動方針に則り進められている。経験年齢に応じ、新採及び市内の異動に応じてバランスよく配置していくことになっている。 |
| 教育長 | 基本的に学校長が市教育委員会事務局に具申し、市教育委員会が県教育委員会に内申する。すると、県教育委員会が教育事務所単位に人員配置する。 |
| 加藤委員 | 要望に対しての実現は難しいか。 |
| 学校教育課長 | 特に中学校においては、教科や時間数がありすべての学校にすべての教科の教職員を配置できるものではなく、東濃5市では管内で何の教科の教職員が足りないかを教職員東濃で明らかにし、県内の動きの中で市のバランスを取っていくこととしているが難しい問題が多々ある。 |
| 矢野委員 | 日吉地区は女性教員が多いが、男女の配置バランスはどのようなか。校外活動において、男性教員がもっと多いと良いと父兄から意見が出ている。 |
| 学校教育課長 | 男女の比率においては、教科・年齢層に応じた配置を考慮しているが、結果的に現在の状況となっており、今後考慮すべき要件の一つであると捉えている。 |
| 委員長 | 小規模校の小中兼務辞令を効果的に発令するとあるが、日吉小中学校については現在行われているが、他の学校にも適用されるか。 |
| 学校教育課長 | 日吉小中学校については、校舎がつながっているなど立地的条件もありあり、教員の交流があり実際に兼務の配置がある。 統合に関わっては、稲津・陶中学校の音楽の指導に小林教諭が配置されているが、瑞浪南中学校の開校にむけて音楽教育の活性化に尽力している例があるが、今後は他の学校でも兼務可能な教科については協議していく方向にある。 |
| 加藤委員 | 国の方針で小学生に英語の専門指導を行う、小中学校一貫教育を推進していくなどの報道があるが、市教育委員会として、小中一貫教育についての方向性を決めて、人事のことを考える時に来ているかと思うがいかがな考えか。 |
| 学校教育課長 | 今年度、そういった施策は考えていないが今後の課題と捉えている。 |
| 教育長 | 瑞浪小学校において「小学校における教科担任制の推進」として、小学校5・6年生に中学校と同じように、教科の専門に習うという研究発 |

表を行ったところ好評価を得た。

今後も小学生が教科の専門性による授業が追及できれば良いと考える。

委員長

その他に質疑はあるか

各委員

—質疑なし—

委員長

それでは、質疑を終結し採決を行う。

「議第46号 平成26年度末瑞浪市教職員定期人事異動方針について」を原案のとおり承認することに異議はないか。

各委員

—異議なし—

委員長

ご異議ないものと認める。よって、「議第46号」は、原案のとおり決する。

委員長

それでは、質疑を終結し採決を行う。

「つづきまして、「議第46号 平成26年度末瑞浪市教職員定期人事異動方針について」を原案のとおり承認することに異議はないか。

各委員

—異議なし—

委員長

ご異議ないものと認める。よって、「議第46号」は、原案のとおり決する。

以上で本定例会に提出されたすべての議案の審議が終わり、本日の日程が終了したので、これにて、平成26年第14回瑞浪市教育委員会定例会を閉会する。

13時50分終了